

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Lil'Ful		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・大部屋以外に個室があり学習に集中出来たり、気持ちの切り替えをするための部屋として使えます。	・年齢層をそれぞれ分けて、学習やプログラムなどを行う際に差別化を図っている。また年齢層を分けることで体格差による事故防止なども意識的に工夫している。	・カードゲームやおもちゃなどを共有しているが、年齢層によっておもちゃを分けて、より差別化を図っていく。またその中で年齢の違う児童同士のおもちゃの取り合いなどによる事故なども防ぐ。
2	・1階に運動部屋があり、いつでも体を動かすことが出来る	・雨の日でも運動部屋が使えるようなプログラムを組んでいる。また他の事業所ではできないような卓球などの室内運動もプログラムとして実施している。	・1階の運動部屋をより充実させるための道具などを購入し、さらなる充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所の作りとして、音が反響しやすい。	・聴覚過敏・特定の音が苦手な児童様には、大きな音として反響してしまう。	・たくさんある部屋を利用して、大きな声を出してしまう児童様が落ち着ける環境を作ったり、逆に大きな音が苦手な児童様の安らげる部屋作りを行う。
2	・部屋の仕切り扉が両開きになっている。	・両開きになっているため、児童様の行き来の際に事故に繋がる可能性がある。	・部屋の仕切り扉の改修を行い、開き方を片方向にしか開かない扉に変える。
3			